

# 黒川橋

熊野川の支流になる黒川は、「流れる水のはたらき」の観察をするにはやや小さめの川ですが、福沢地内の黒川橋付近では、川の屈曲に合わせて堤防が作られており、流速のちがいが観察できます。また、屈曲の内側には礫が堆積した川原もあります。このような川では、堤防から川原へ降りる場所をさがすのに苦労することが少なくありませんが、ここでは、階段があり、川原へ降りたり、川原から上がったりが簡単にできます。

黒川の特徴としては、合流点付近でも、結構大きめの礫が見つかることがあげられます。礫は、安山岩の礫が目立ちますが、中生代の砂岩礫も時折みられます。ここは、川原の規模も小さいので、小規模な小学校向きといえるでしょう。

観察対象	河川中流部
観察できる人数制限	1クラスが望ましい
流速の実験の安全性	天候が安定していれば比較的安全にできる。
バス駐車スペース	停車して乗降できるスペースはある。
トイレ	近くにない。事前に近くの小学校や高校等をお願いしておく必要がある。



左岸側から上流方向のながめ



礫は大きめで、ややかどぼっている

